

公共事業再評価事業別調書

担当所属	県土整備部	港湾空港課
再評価	未着工	長期継続（国土交通省10年）
実施要件	その他（ ）	

1 事業の概要

事業種別	港湾海岸事業	事業主体	県	市町村	その他（ ）		
事業名	川内港海岸海岸侵食（護岸）事業	地区名等	下北郡川内町葛沢地区				
事業区分	補助事業等	単独事業	負担区分	国 50%：県 50%：市町村 %：その他 %			
採択年度	平成5年度（用地着手年度、工事着手平成6年度）						
終了予定	平成19年度（平成14年3月計画変更＜計画時平成17年度＞）						
事業目的	川内川河川改修による流下能力の増大及び波浪による河口部の水位上昇のため浸水の危険にさらされている人家密集区域を浸水被害から防護する。						
主な内容	天端高の低い旧護岸及び旧棧橋を撤去し、所定の高さの護岸を設置する。旧棧橋の機能については、船溜りへシフトする。						
事業費	採択時総事業費 647.6 百万円 単位：百万円						
	～11年	12年	13年	14年	小計	15年～	合計
計画 （うち用地費） ＜H14年3月変更＞	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	575.3	287.7	863.0
実績 （うち用地費）	230.6	120.0	63.0	48.0	511.6	351.4	863.0
その他							

2 評価指標及び項目別評価

(1) 事業の進捗状況

AA・A・B・C

事業の進捗状況	単位：%		
		計画全体に対する進捗	年次計画に対する進捗
	事業費割合 （うち用地費）	59.30%	88.90%
	（ ）	（ ）	（ ）
工種毎割合 （主要工種）	（工種名：評価基準）		
	護岸整備済延長	59.30%	88.90%
説明			
問題点・解決見込	漁期及び出水期により工事時期が限られてしまう。		
事業効果発現状況	左岸側が完成したことにより、右岸側の早期整備への意識が高まっている。		

(2) 社会経済情勢の変化

AA・A・B・C

社会的評価	全国：海岸侵食・高潮対策に関する意識は高まっている。		
	県内： "		
	地域（関係市町村、受益者等）： "		
予算動向	国：予算規模が縮小されている。		
	県： "		
必要性等	計画時	再評価時	左の説明
必要性	大	大	所定の高さを確保しなければならない
重要性	大	大	背後地は人家が密集している
緊急性	大	大	浸水の危険にさらされている
効率性	大	大	防護による被害防止の効果は高い
その他			
その他			

(3) 費用対効果分析の要因変化

AA・A・B・C

費用対効果分析		計 画 時	再 評 価 時	増 減
	費用 (C)	百万円	935 百万円	百万円
	効果 (B)	百万円	14,078 百万円	百万円
	B / C		15.06	
変化内容	費用： 効果：			
B/Cへの影響	計画時においては、費用対効果というものがなかったため、分析（算定）していない。			

(4) コスト縮減・代替案立案の可能性

コスト縮減の可能性	
代替案の可能性	

(5) 評価に当たり特に考慮すべき点

住民ニーズ把握状況	浸水被害が低減されるため、期待が大きい。
環境影響への配慮	人家の密集場所なので、騒音と振動に配慮している。
地域特性	シラウオ・サケの漁場に近いため、漁期における工事が制限される。 河口部であるため出水期間中の工事が制限される。

3 対応方針（事業実施主体案）

総合評価	継続 見直し継続 中止
評価理由	工事期間が制限されているため進捗率は低い、その他の阻害要因はないことから着実に整備を継続することが可能である。
備考	

4 公共事業再評価審議委員会意見

委員会意見	対応方針（案）どおり 対応方針（案）を修正すべき
委員会評価	継続 見直し継続 中止
評価理由	
附帯意見	